

能登産ワインの酵母に美容効果。 石川発の新基礎化粧品を発表。

ラヴィージョ
『Laviejo®』



ワインの製造工程で廃棄されるだけだった「濁」に美容成分が豊富に含まれることに着目。細胞を活性化させ良いターンオーバーを促し肌を生き生きとさせるそう。

(左) 株式会社人楽 代表取締役 道林治さん
(中) アジアアンチエイジング美容協会代表理事・
株式会社AERISTIC & Co. 代表取締役 近藤英樹さん

(右) TOWAKO メディカルコスメティック株式会社
代表取締役 牧 義雄さん



構想から3年。能登の赤ワイン酵母から生まれた基礎化粧品「ラヴィージョ」の発表会が「株式会社人楽」主催で4月20日(月)開催された。発表会には約40名の美容関係者が出席した。

開発には原料から製品までをワンストップで開発・製造する「TOWAKO メディカルコスマティック株式会社」が携わり、ワインの製造段階で出る沈殿物「濁」から美容成分の高いワイン酵母エキスを抽出し、保湿型ヒアルロン酸や生コラーゲンなどを加えて肌を潤す、エイジングケアに効果がある基礎化粧品を作り出した。遺伝子工学的にも研究を重ねた商品として「効果」を意識しながら

患つており、その時「限りある人生を自分の仕事を通して、女性が輝く豊かな社会に繋げられるような商品を作りたい」と決意を新たにした。「この「ラヴィージョ」は子供のようなもので。世に送り出し、これから大切に育てていきたい」と語った。

「ラヴィージョ」は石川県内の美容、エステサロンでの取り扱いとなるが、すでに県外、国外からも問い合わせが来ているほど注目されている。